

# 第七次前橋市総合計画 令和6年度行政評価等



# 議事（１）

## 第七次前橋市総合計画の進行管理（行政評価）について

# 1 第七次前橋市総合計画の進行管理（行政評価）

## （1）目的

将来都市像に掲げた「新しい価値の創造都市・前橋」の実現に向けて、PDCAサイクルによる進行管理を行い、重点施策のもとで実施する事業（重点事業）の取組状況等を評価・検証するとともに、より高い成果を上げるための改善策を講じることにより、計画を着実に推進するもの。

## （2）評価対象

令和5年度（2023年度）実施の51重点事業



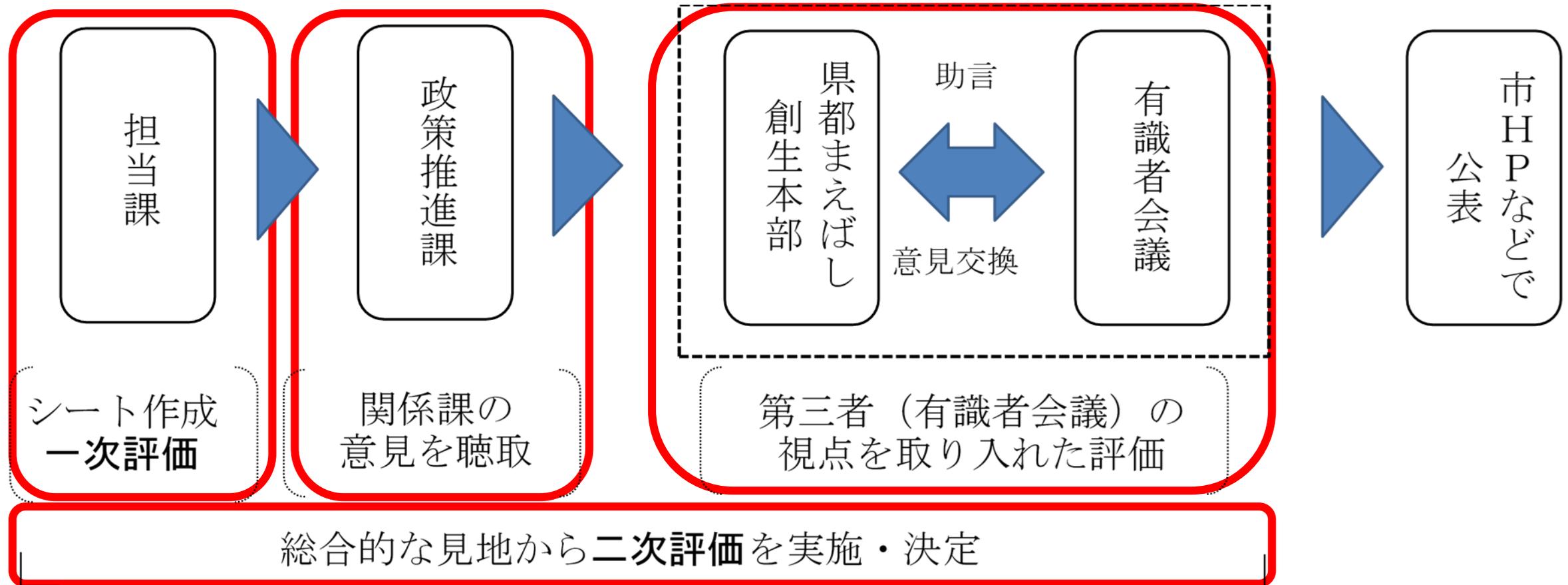
推進計画は、社会状況の変化等を考慮して3～4年ごとに見直し



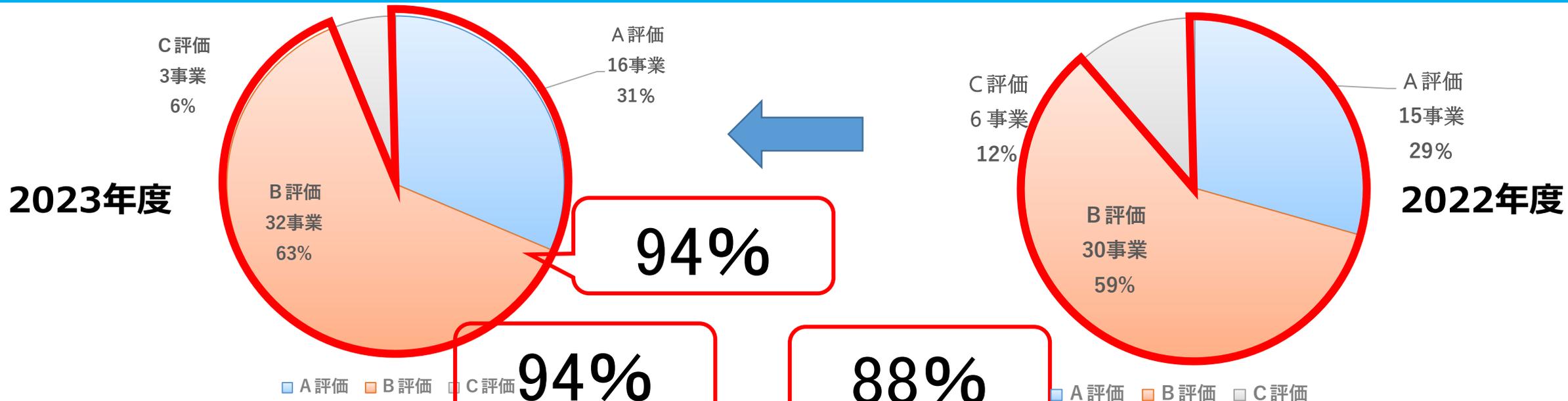
# 1 第七次前橋市総合計画の進行管理（行政評価）

## （3）評価方法

成果指標の実績値と重点事業の取組状況、地域経営の3つの項目について以下の流れで総合的な見地からの評価・検証を実施。



## 2 2023年度実施事業の評価結果



行政評価の結果	2023年度事業	2022年度事業	2021年度事業	2020年度事業
A評価(順調に進んでいる)	16事業 (31%)	15事業 (29%)	9事業 (18%)	4事業 (8%)
B評価(概ね順調に進んでいる)	32事業 (63%)	30事業 (59%)	36事業 (70%)	36事業 (68%)
C評価(少し遅れている)	3事業 (6%)	6事業 (12%)	6事業 (12%)	13事業 (24%)
D評価(遅れている)	0事業 (0%)	0事業 (0%)	0事業 (0%)	0事業 (0%)

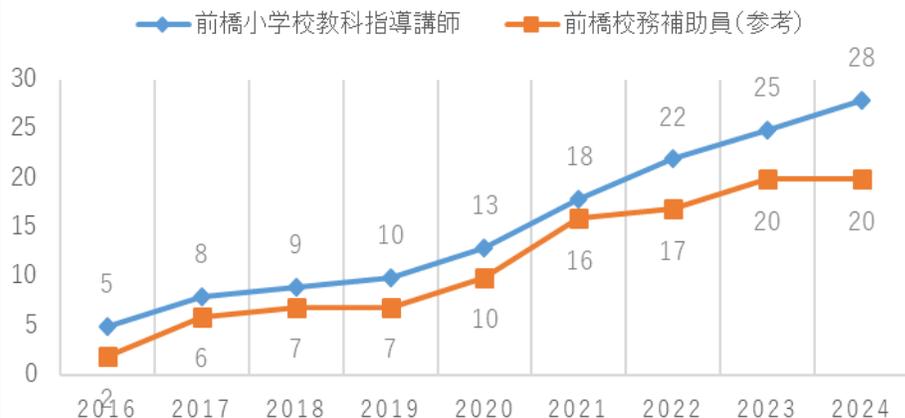
## 重点事業No.1 一人ひとりの学びの推進

### ■支援スタッフ強化が学びの充実へ成果

- ・配置校の教員に週1時間のゆとりを確保できている
- ・標準学力検査CRTで全国平均を上回る状況  
（英語、国語、算数・数学）

#### 前橋小学校教科指導講師等の支援スタッフの充実

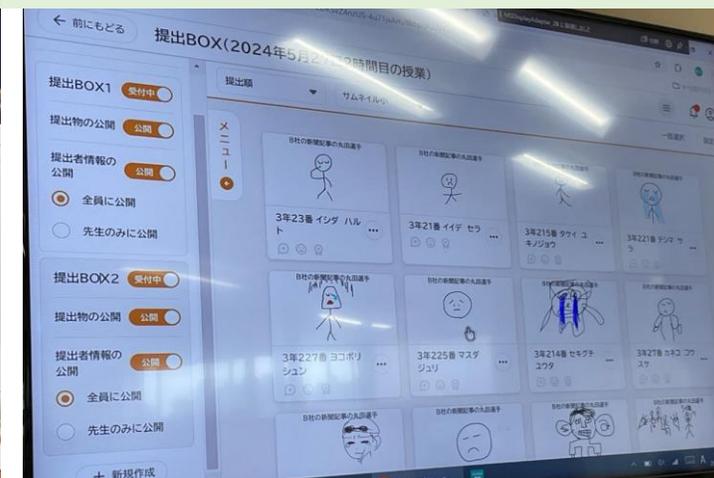
前橋小学校教科指導講師推移（人）



タブレット端末を活用したALTとの会話の様子



生徒同士の回答内容を瞬時に共有・参照（国語）



国語授業の様子



学習用端末の通信環境（本市はLTE）

・インターネット接続方式

自治体等数ベース（1,815自治体等）



（単位：自治体等）

※ 複数の接続方式がある場合は、主たる接続方式を回答

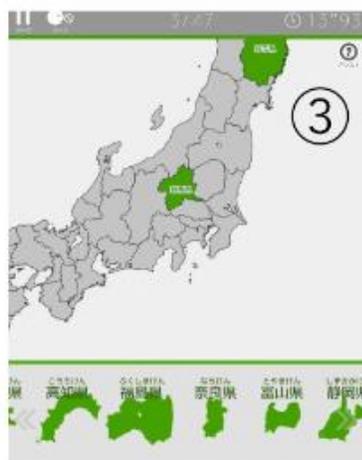
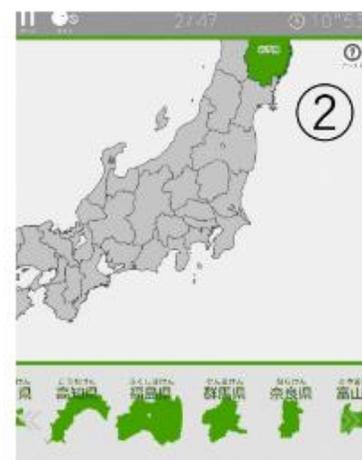
ICTツールは学びの場に定着、本市の強みを分析しPRを

共通の教材ソフト

あそんでまなべる 日本地図パズル

ジグソーパズル感覚で都道府県の位置や名前を覚えることができる教育系パズルゲーム(①)です。楽しくテンポ良く遊びながら学べます。

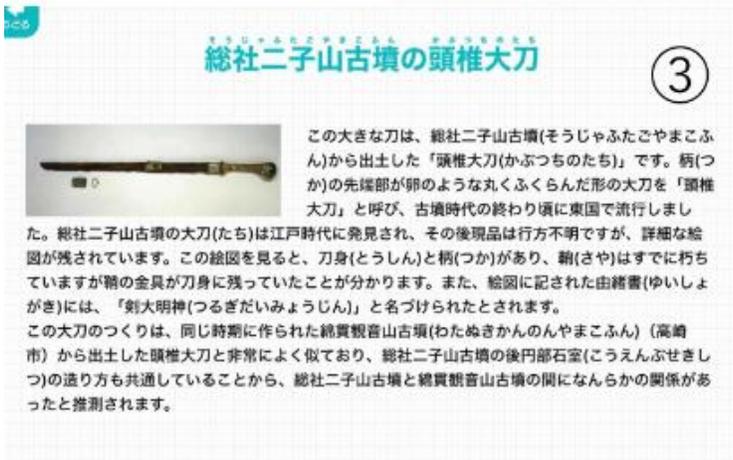
緑色に表示された47の都道府県をすべて移動させたタイムを競います(②③)。



共通の教材ソフト

前橋市総社歴史資料館 総社資料館ナビ

前橋市総社歴史館の展示資料等(①)について学ぶことができます。展示解説(②)では、総社古墳群、力田遺愛碑などに関わる解説(③)を読むことができます。



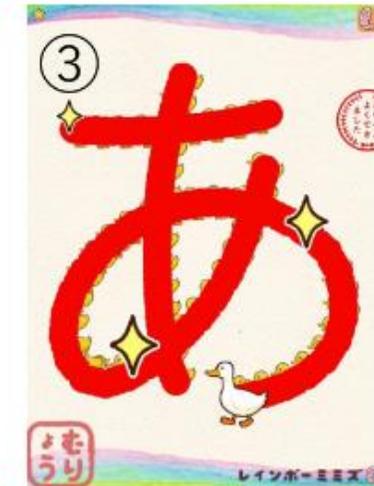
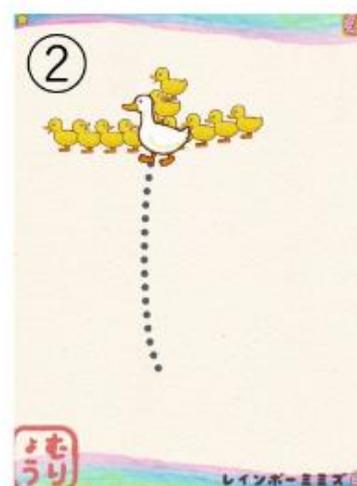
個別の教材ソフト

たのしい！ひらがな

特別支援学校で活用されている教材(①)です。

ひらがなの書き順どおりに、点線が表示(②)されます。

表示された点線をかawaiiキャラクターでなぞる(②、③)ことで、ひらがなを覚えることができます。



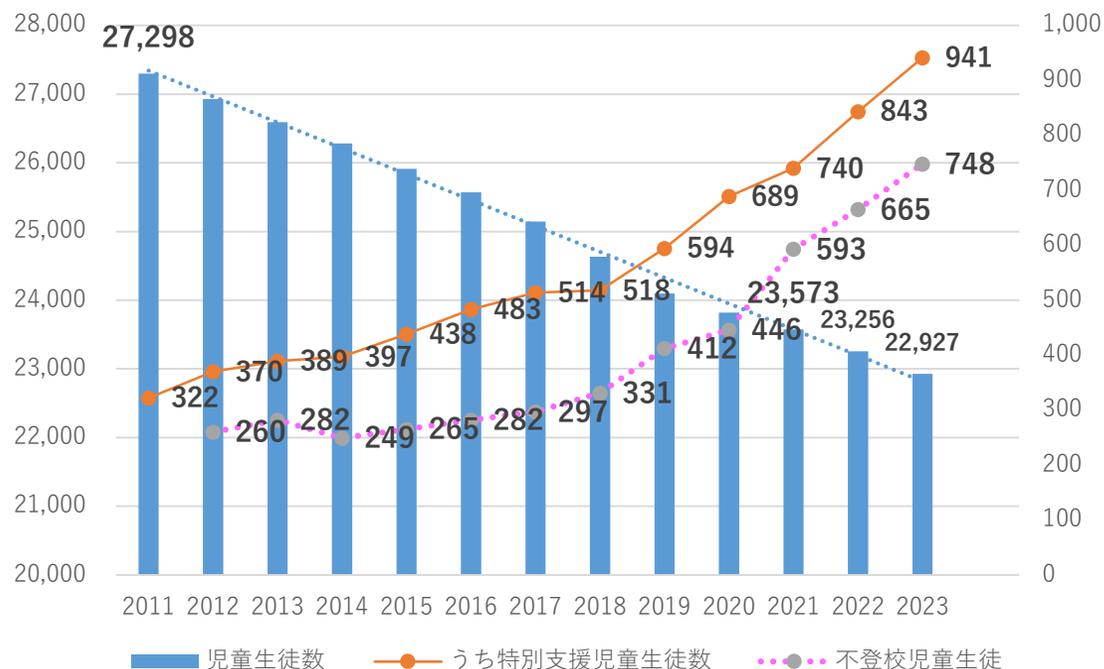
効果的なICTツール活用の横展開や柔軟利用で学びを促進

## 重点事業No. 2個に応じた教育の推進

## ／ No. 4 人間性を高める学校・園づくり

### ■児童生徒推移の状況

- ・特別な支援を要する児童生徒数4.5%(オレンジ色)
- ・不登校児童生徒数3.3%(ピンク色)



### ■多様化するニーズに即した支援を充実

オープンドアサポーターや、スクールカウンセラー等に加え  
フリースクール等への交通費補助制度を開始  
(2024年度から)

#### 【内容】

自宅から施設までの直線距離に応じて1日500円(月額10,000円)を上限に  
交通費を支援

こどものまち  
推進本部

こどものまち  
有識者会議

こども・若者会  
議

全庁的な取組として(市長部局、教育委員会で連携)

前橋市こども基本条例の制定、前橋市こども計画の策定へ

実態に即した粘り強い支援、社会全体で見守る体制づくりを検討

## 重点事業No.2 個に応じた教育の推進

特別支援教室（二之宮小学校：特別教室をパーテーションで2教室として活用）



かつての視聴覚室をパーテーションを使って特別支援学級2教室分として活用

特別支援教室（桂萱小学校：自閉傾向の児童の集中スペースを手作りで対応）



自閉症・情緒障害特別支援の児童が衝立を使って学習に集中できる配慮が必要だが、手作り資材で対応している状況

特別支援学校の様子（東上野町）



本来1つの教室のスペースを2教室分として活用  
空き教室なし

※特別支援学級の学級編成は  
教員1人につき8人の児童生徒が上限

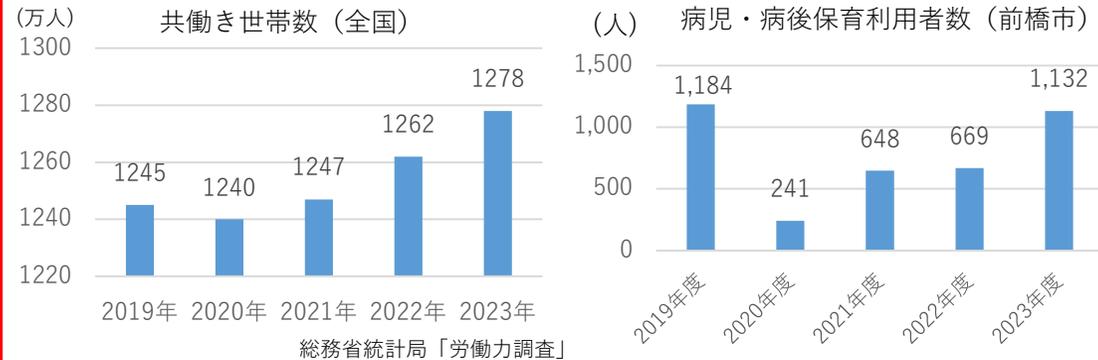
## 重点事業No.13 就学前のこどもの預け先確保

### ■病児・病後保育実施施設

※利用人数を制限する場合も有

施設名	定員（最大）
おひさまの家（群馬県済生会前橋病院）	4名
たんぽぽ（前橋赤十字病院）	4名
おれんじ（かなざわ小児科クリニック）	4名
大胡チャイルドサポート（大胡第2こども園）	4名

### ■病児・病後保育利用者数



共働き世帯の増加 → 病児・病後保育利用者数増加  
今後も増加が見込まれる

子育てと就労の両立のため5か所目の設置検討中

### ■医療的ケア児の受入

市内保育施設での受入施設数（2024.7.25現在）

	受け入れ施設数	受入人数
公立	0施設	0人
私立	3施設	3人

市内保育施設での看護師配置施設（2023年度）

	配置施設
公立	16施設中0施設
私立	71施設中35施設 ※一部未回答有

#### 課題

公立：現施設では、施設面の課題により受入難しい状況  
→再整備施設では、人材・施設双方の受入体制を整備予定

私立：対象児童が有する医療的ケア経験のない看護師である場合→医療的ケア児の受入が難しい施設も有

希望者が入園できるよう、受入先の整備が必要

## 重点事業No.17 障害者の活躍促進

### ■インクルーシブスポーツフェスタ 参加者：約1,000人



道の駅まえばし赤城にて初開催

#### コンセプト

障害、年齢、性別、国籍等にかかわらず、多様な人々がともに集う「インクルーシブ」の観点に基づいた誰もが楽しめるスポーツフェスタ

#### 実施競技

フェイスマッチ、トントンボイス相撲、フライングエッグ  
うんちスポーツ、点字ブロックリレー、くつしたまいれ  
高齢者・車椅子・ボッチャ・車いすバスケット体験

障害者との交流機会の提供により、障害福祉への理解を促進

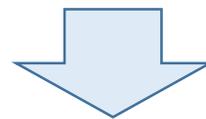
### ■「みんなの店」市役所地下売店での販売(2023.12～)

(一社) みんなの店運営委員会 (市内42事業所加盟)

- ・自主製品の販売
- ・加盟事業所の商品紹介
- ・共同受注による商品製作・販売・役務

販売場所

- ・みんなの店 (総合福祉会館内)
- ・SHOP CAFÉ Qu (道の駅まえばし赤城内)



販路拡大を目的として

市役所地下売店での販売を開始 (4事業所)



販売回数：月に4日間  
販売商品：パン・弁当・焼き菓子等  
購入者：市職員、市民  
売上：完売日もあるが、  
概ね8～9割の売れ行き

ニーズに沿った事業展開を引き続き行う必要有

## 重点事業No.17 障害者の活躍促進

### ■まえばし☆みんなのえいがさい～インクルーシブシネマフェス

日程

12月7日（土）～12月20日（金）

目的

- ・映画映像による障害福祉の理解促進
- ・障害を持つ人も持たない人も映画を楽しんでもらう

概要

- ・上映
- ・監督、出演者などのアフタートーク
- ・当事者の討論会
- ・ギャラリー展示
- ・障害福祉サービス事業所等による物販会



### ■アートバスツアー：魅力ある先進事業所への視察



日程

7月30日（火）

目的

- ・取り組みのヒント、障害者ケアにアートを取り入れることの意義を学ぶ
- ・一般公募者に障害者アートを知ってもらう

### ■MAEBASHI SOCIAL GOODS project

目的

- ・事業所から作品を集めることで隠れた個性の発見や可能性を感じてもらう
- ・Tシャツやカレンダー等の販売物にすることで、障害者の賃金向上

概要

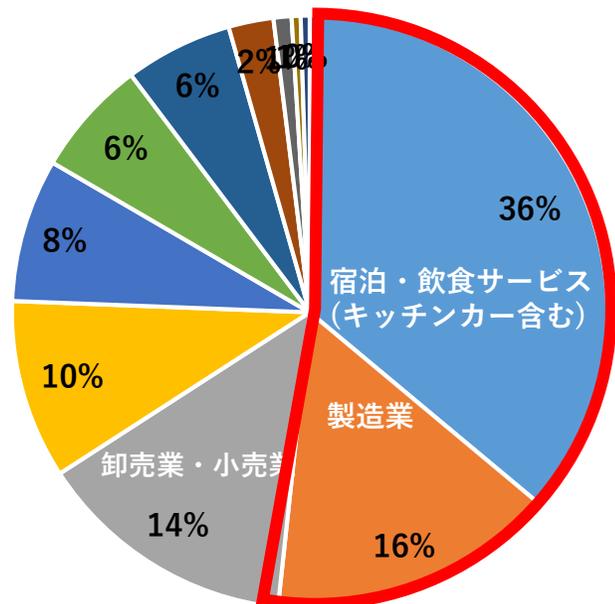


- ①6/19 施設長向け説明会
- ②7/11 絵を描くワークショップ
- ③8/1 作品選定会
- ④9/11 シルクスクリーンワークショップ
- ⑤9/23 インクルーシブスポーツフェスタでスタッフがTシャツ着用  
SHOP CAFÉ Quにて原画展や販売
- ⑥11月 カレンダーを作成販売
- ⑦12月 障害者週間でカレンダー原画展示



## 重点事業No.22 新産業の創出と新市場の開拓

### ■支援事業205件の業種内訳



- 宿泊、飲食サービス
- 卸売業、小売業
- 生活関連サービス業、娯楽業
- 学術研究、専門・技術サービス業
- 不動産業、物品賃貸業
- 教育、学習支援業
- 製造業
- 建設業
- サービス業(他に分類されないもの)
- 情報通信業
- 運輸業・郵便業

- ①新製品・新技術開発補助金 9件
- ②ぐんま技術革新チャレンジ補助金 5件
- ③経営計画実行補助金 144件
- ④キッチンカー出店支援 47件

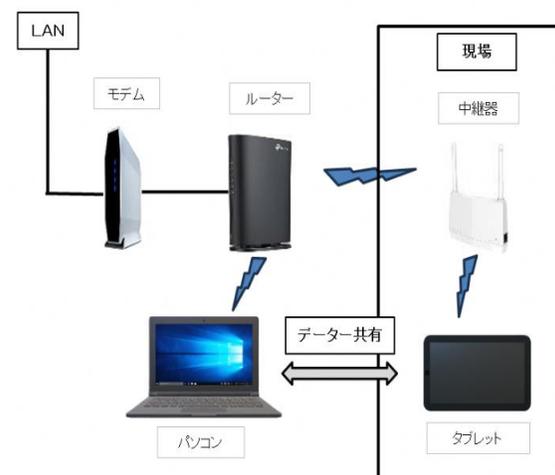
様々な業種に対して支援

### ■御用聞き型業務改善サポート

#### 自動車部品製造メーカー

**年間企業訪問回数:75回**

**取り扱い品種は777品種、毎月生産品種は約130品種を紙ベースで管理しており在庫品を探すのに時間がかかる**



**現場にタブレットを設置**  
生産数、在庫数、不良数を一元管理と図面検索

#### 支援期間:7ヶ月

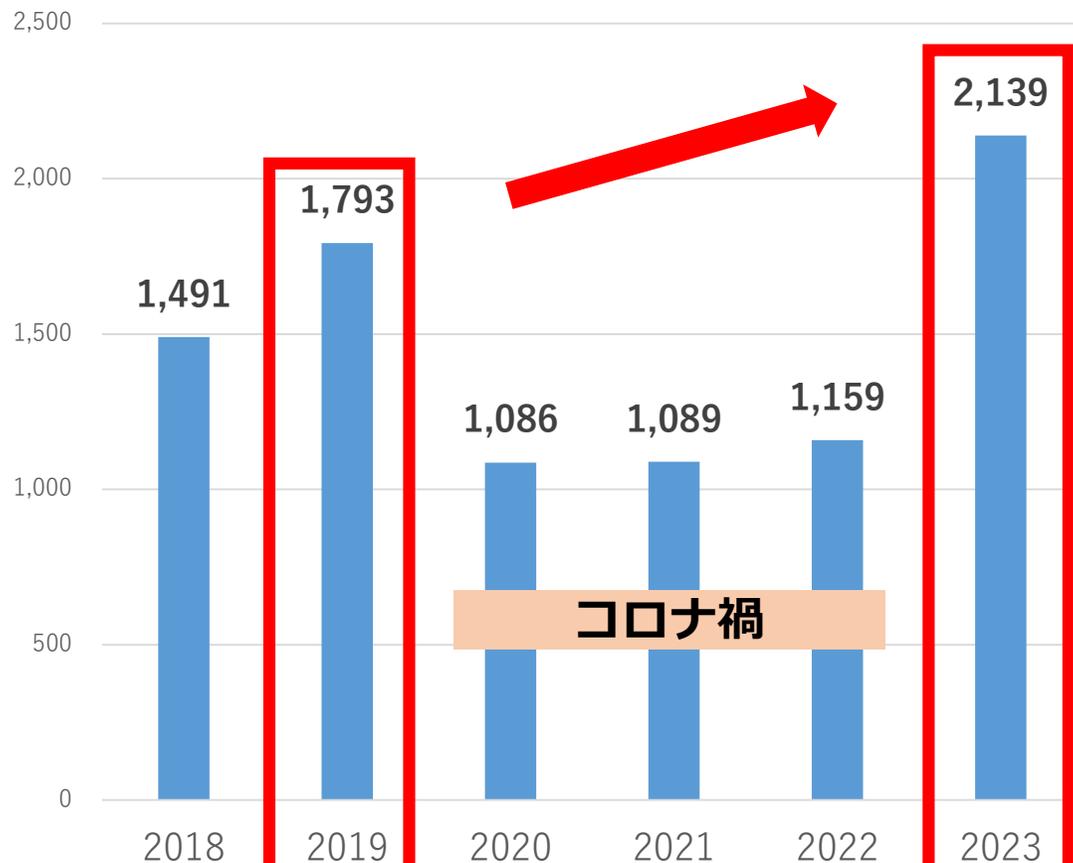
出荷頻度	管理ランク
毎月出荷品	Aランク
年9~11か月出荷品	Bランク
年7~8か月出荷品	Cランク
年5か月出荷品	Dランク
年2~4か月出荷	Eランク
年1か月出荷品	Fランク

**出荷頻度の高い順に管理ランクをAからFで在庫品の管理をおこなう**

DX化による業務効率の改善

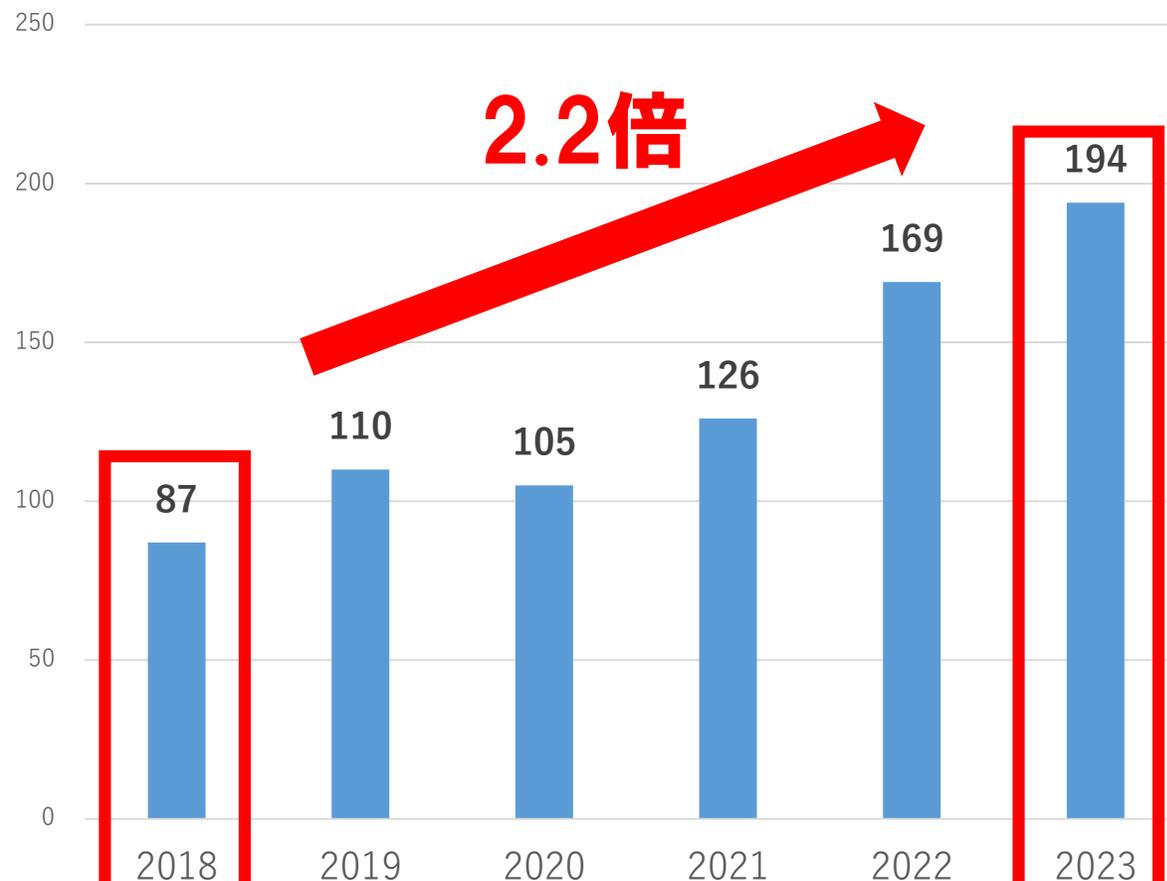
## 重点事業No.26 包括的な起業支援

創業センター利用者（年間）



セミナーやイベントの充実

創業支援等による創業者数（年間）



連携体制の構築による増加

## 重点事業No.26 包括的な起業支援

### ■特定創業支援

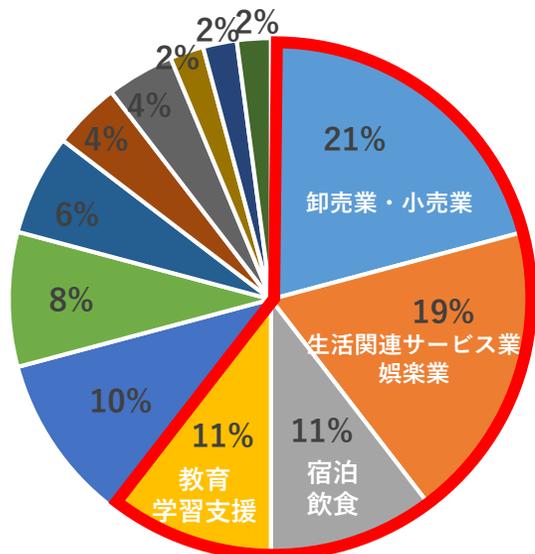
国の認定を受けた創業支援事業：**10事業（前橋市）**

→登録免許税の軽減・融資の拡充・補助金の拡充



2023年度認定特定創業支援事業  
証明書の発行件数：**48件**

### ■支援件数48件の業種内訳



- 卸売業・小売業
- 生活関連サービス業・娯楽業
- 宿泊業・飲食サービス業
- 教育・学習支援業
- 医療・福祉
- 情報通信業
- サービス業
- 建設業
- 製造業
- 農業・林業
- 不動産業・物品賃貸業
- 学術研究・専門・技術サービス業

### ■Sowフェスを単独で初開催

創業のタネは「上毛かるた」にあり!!今年のテーマは「上毛かるた」  
第4回 前橋市創業センター Sow fest. ソウフェス  
参加無料 小雨決行  
創業センター 公式サイトはこちら  
お問い合わせ 公式サイトはこちら  
4.27 [sat] 10:00-16:00  
4会場 前橋市創業センター/前橋中央イベント広場 DiPS.A 前橋まちなか店/マチナカさん  
主催：一般社団法人前橋起業支援センター  
後援：前橋市 / 前橋市教育委員会 / 上毛新聞 / 株式会社エフエムぐんま / まえはしCITYエフエム / 群馬テレビ株式会社  
イベント専用駐車場はございません。お近くのコインパーキング等をご利用ください。  
※駐車場はご自身の車でご利用ください。  
特設 創業相談コーナー  
前橋市創業センター4階 開催時間：13:00~15:00  
前橋で創業したい人の創業相談を受け付けます!  
第一回「上毛かるた」高校生大会開催  
in 前橋市創業センター4階 開催時間：10:00-12:15  
上毛かるたタイピング  
上毛かるたのタイピングのスピードを競ってみませんか?挑戦してみませんか?ベストスコア目指してみましょ!

起業家との交流促進  
イベントとして開催

### 来場者数

2023年 950人  
2024年 1,200人

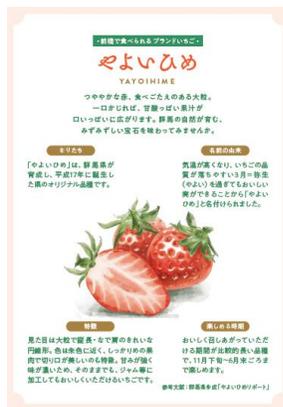


## 重点事業No.29 実効性の高い販売戦略の展開

前橋いちごガイド (2023)

■直近5年間  
8人が新規参入

■市内22か所  
いちご農園を紹介



## 道の駅まえばし赤城でいちごフェスティバル



フードコートの店舗で期間限定メニューを販売

ふる納お礼の品ランキング  
上位10のうち6品がいちご  
金額総額 6,400万円

有名産地にも負けない「いちごの街まえばし」をPR

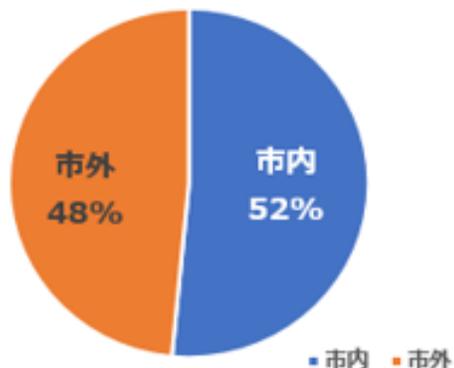
## 重点事業No.29 実効性の高い販売戦略の展開

道の駅まえばし赤城 農産物直売所



直売所会員数：約**300名**

■ 会員の構成割合



・前橋市内：52%  
・前橋市外：48%

■ 青果物（野菜、果物）と加工品の割合



・青果物：75%  
・加工品：25%

農産物直売所の販売状況

■ 生産者の**売れ残り回収率は5～10%**



通常商品以外の規格外野菜など道の駅が生産者から引き取り



テナントに販売



**フードロスの削減**

生産者と道の駅が連携することでSDGsの活動にも繋がっている

## 重点事業No.30 赤城山ツーリズム・スローシティの推進

スローシティを体感するイベント！

### スローシティマルシェの開催



### 来場者アンケートの実施

（回答者95人、うち前橋市民32人）

(1) スローシティ（又はチッタスロー）という単語を聞いたことがありますか  
95件の回答

アンケート全体認知度  
42.1%

市民の認知度  
（市内回答者の内）  
約15%

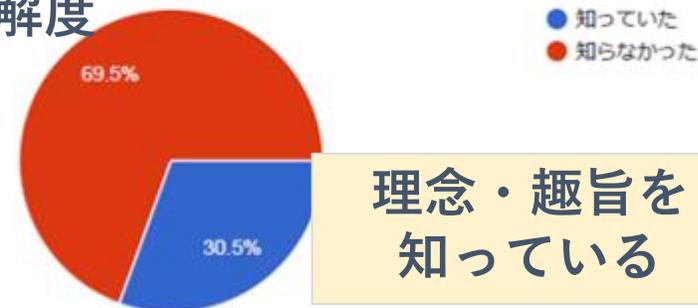


聞いたことがある

(2) スローシティの理念や趣旨を知っていましたか  
95件の回答

アンケート全体理解度  
30.5%

市民の認知度  
（市内回答者の内）  
約11%



理念・趣旨を  
知っている

スローシティ認知・理解とも低調、調査対象・方法含め検討中

## 重点事業No.30 赤城山ツーリズム・スローシティの推進

### スローシティ・市民向け周知の取組

スローシティの取り組みを紹介するこのコーナー。今回は、スローシティについて紹介します。スローシティとは、イタリア、オルビエーリ市などが発祥の地域食や産物、生活、歴史文化、自然環境を大切にしたい個性・多様性を尊重したまちづくりを目指す取り組みです。スローシティ国際連盟は、本市の友好都市のイタリア・オルビエーリ市に本部があり、世界33カ国287都市が加盟しています（3月現在）。本市は「スローシティ前橋・赤城」として平成29年に加盟しました。スローシティはまちづくりの理念。難しく感じるかもしれませんが、昔から受け継いできたことや日常にある当たり前のことを、例えば、自然の中でキャンプをする、前橋産の野菜や果物を食べる、地域の伝統行事に参加

加することもスローシティの取り組みです。効率化が優先される社会の中でも、豊かな自然と歴史を身近に感じ、手間をかけた生活の喜びを実感できるようなまちにしたい。誰もが心も体も良い状態（Well-being）で過ごすために、ゆつくと、丁寧に、スローシティの理念をかたちに、前橋を誇れる大地にしていく。そんな思いの人々とながら幸せの響くまちづくりを目指しています。新緑の美しい季節、キャンプやサイクリングで自然を楽しみ、スローに過ごしてみ



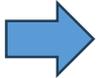
広報まえばしへのコラム掲載  
2023年隔月6回  
2024年3ヶ月に1回掲載中

スローシティおえかき展  
2022年～毎年開催  
市内50施設約1,500人参加

スローシティ前橋・赤城  
公式ハンドブック  
3,000部作成

デジタル版案内ポストカード  
15,000部市内保育施設へ配布

スローフード運動  
「食・農産物」

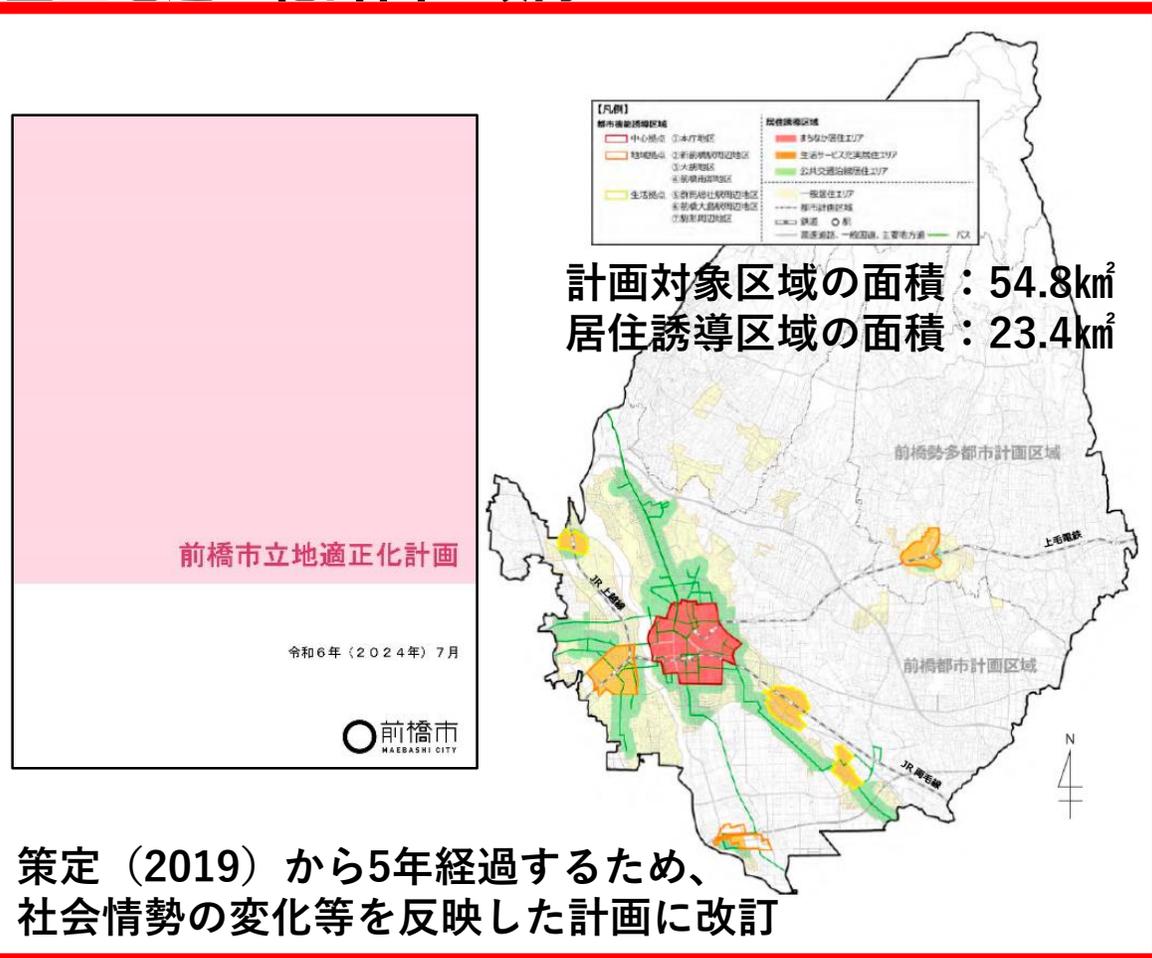


スローシティ運動  
「食・農産物」「歴史文化」「多様性」「公民連携」「教育」「観光」「生活の質」「自然」

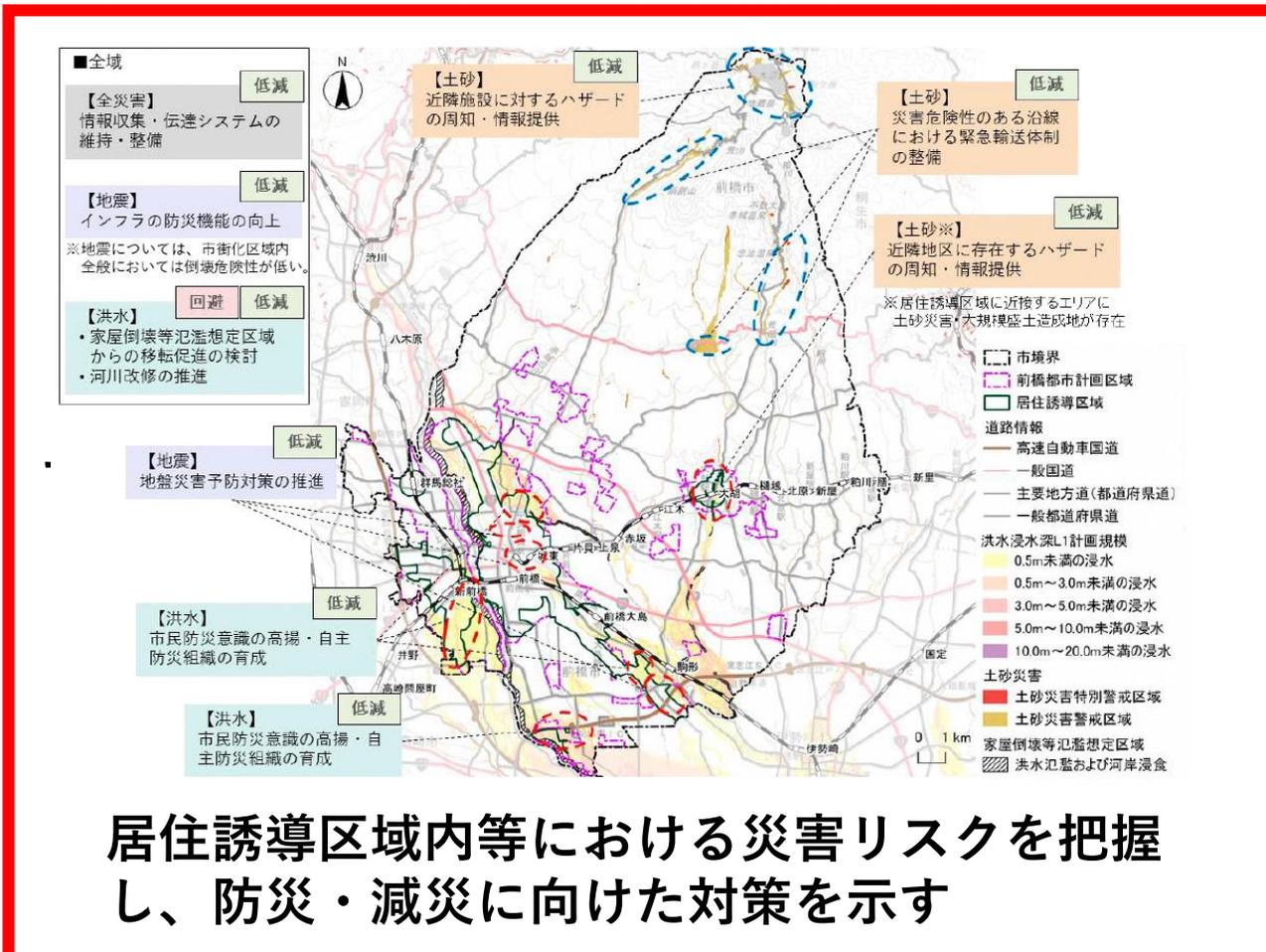
スローシティの浸透＝まちのアイデンティティを市民に伝えること

## 重点事業No.41 合理的な土地利用の推進

### ■立地適正化計画の改訂

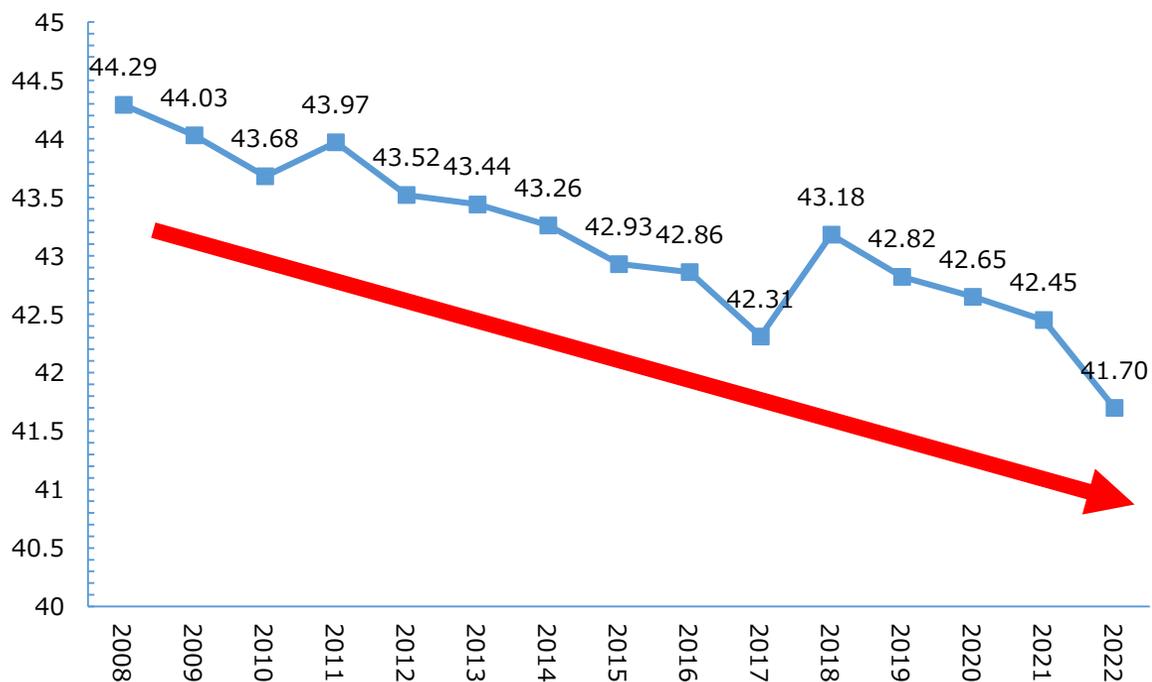


### ■新たに立地適正化計画(防災指針)を策定



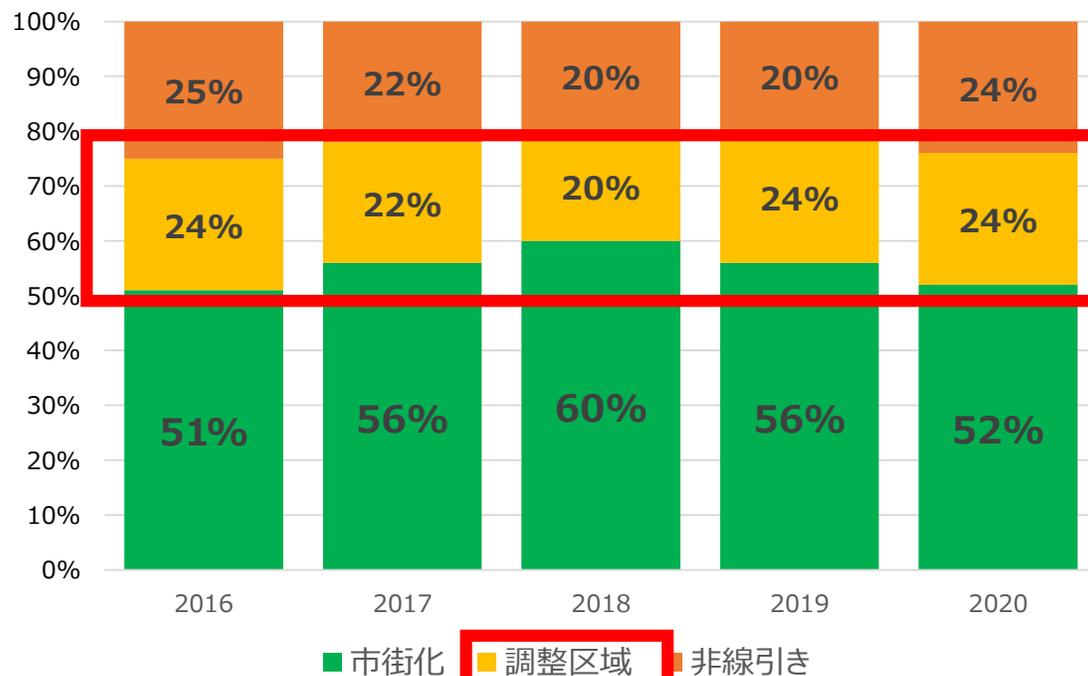
## 重点事業No.41 合理的な土地利用の推進

### ■立地適正化計画で定める居住誘導区域内の人口密度の推移



居住誘導区域内の人口密度は微減傾向にある

### ■2016～2020年の新築動向



本来、開発を抑制すべき区域である調整区域では一定程度の建築物の新築が行われている

2024年度から調整区域での無秩序な開発を抑制するため  
土地利用のあり方検討会議を組織

## 重点事業No.50 災害に強い上下水道システムの構築

### ■令和6年能登半島地震被災地での支援活動

（公社）日本水道協会からの要請による被災地支援活動



石川県輪島市で応急給水活動、石川県羽咋郡志賀町で水道復旧活動を実施。

水道復旧活動は、市管工事協同組合の組合職員が水道局職員と協働で活動にあたりました。

派遣日	車両台数及び人数	主な活動内容	派遣期間
1月6日	1台（2t）4名	応急給水	1月6日～10日
1月9日	1台（2t）4名	応急給水	1月9日～13日
1月15日	1台2名	資機材搬送	1月15日～17日
1月18日	1台（2t）4名	応急給水	1月18日～22日
1月21日	1台（2t）4名	応急給水	1月21日～25日
1月23日	2台4名	応急復旧	1月23日～29日
2月5日	1台（2t）4名	応急給水	2月5日～9日
2月8日	1台（2t）5名	応急給水	2月8日～12日
2月17日	1台（2t）6名	応急給水	2月17日～21日
2月20日	1台（2t）7名	応急給水	2月20日～24日
3月5日	1台（2t）8名	応急復旧	3月5日～11日
3月6日	1台（2t）9名	応急給水	3月6日～10日
3月9日	1台（2t）10名	応急給水	3月9日～13日

延べ50名

### ① 応急給水活動

【輪島港公民館での給水】



【生活用水の給水も実施】



### ② 応急復旧活動

【漏水調査の様子】



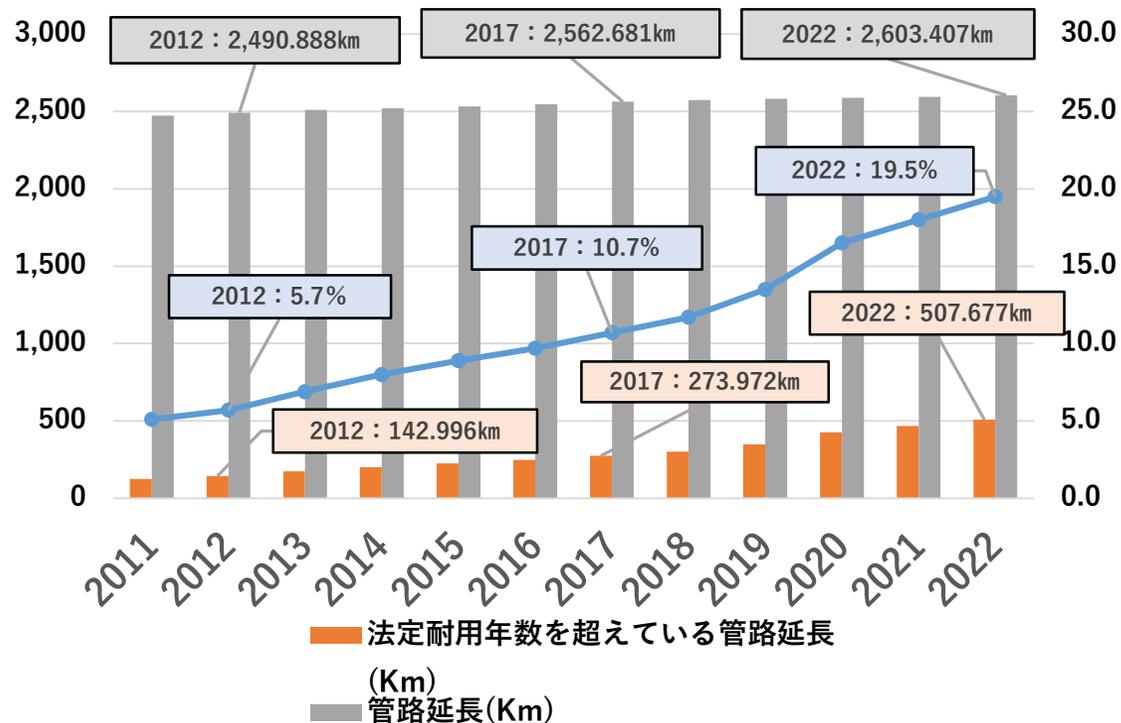
【復旧工事の様子】



市管工事協同組合と協働で、迅速に対応

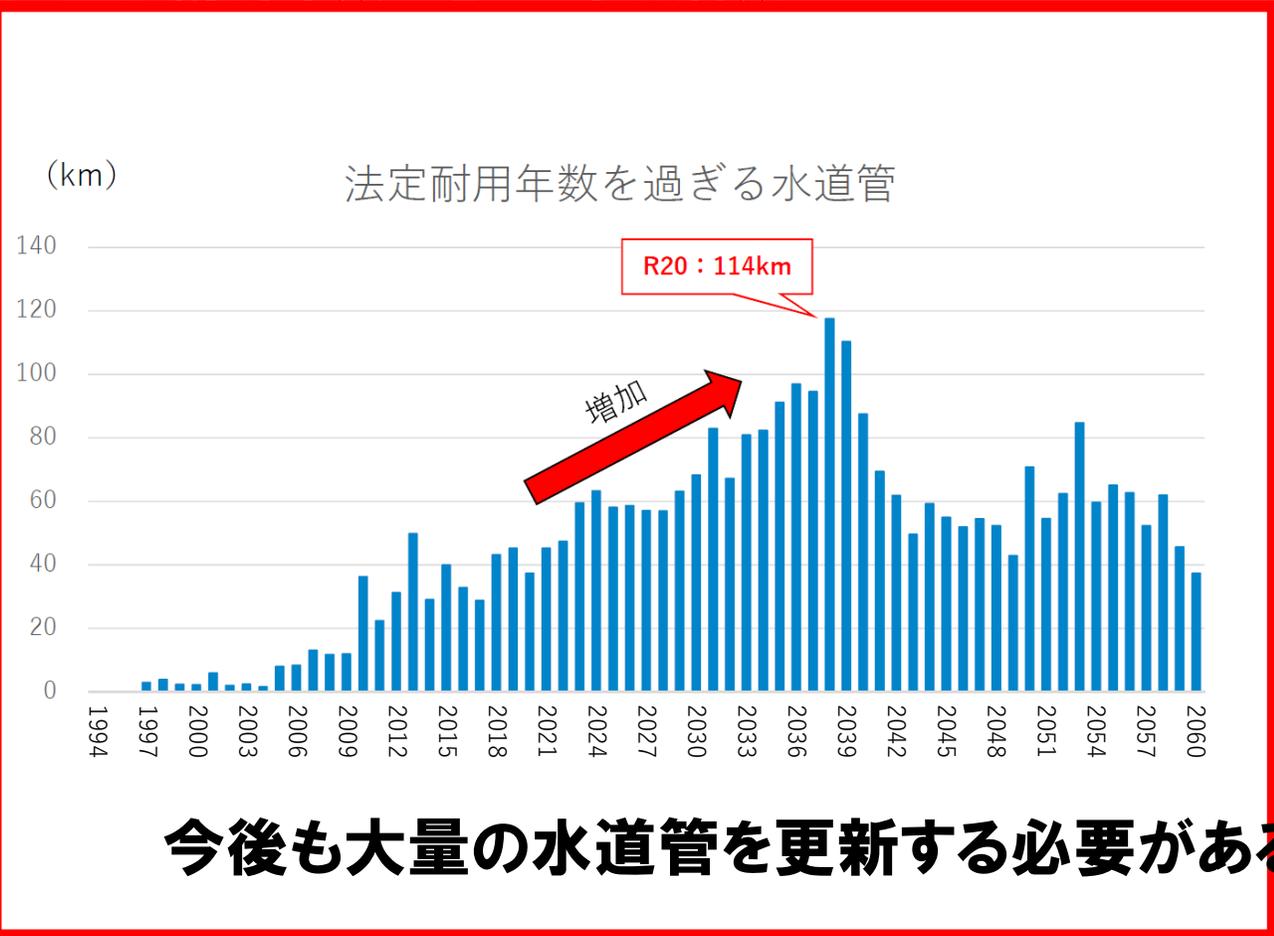
## 重点事業No.50 災害に強い上下水道システムの構築

### ■法定耐用年数超過管路率の推移



法定耐用年数40年を超える管路の割合が年々増加、2022年時点で19.5%に

### ■法定耐用年数を過ぎる水道管数



今後も大量の水道管を更新する必要がある

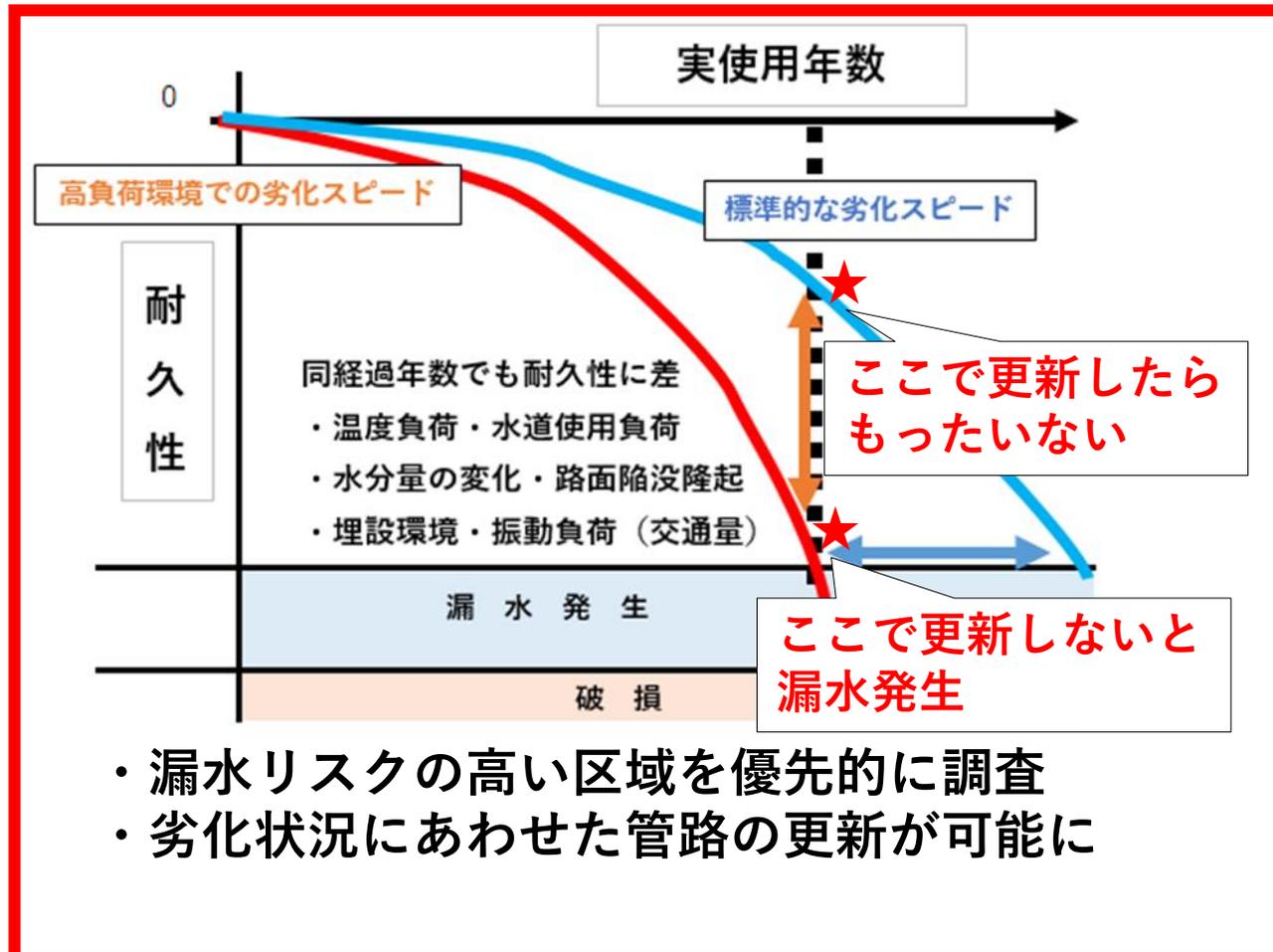
災害時に給水が特に必要な基幹病院等を優先して計画的に管路更新を進める

## 重点事業No.50 災害に強い上下水道システムの構築

### ■衛星画像とAIを活用した漏水調査をスタート



### ■耐用年数以外に劣化状況に合わせた管路更新



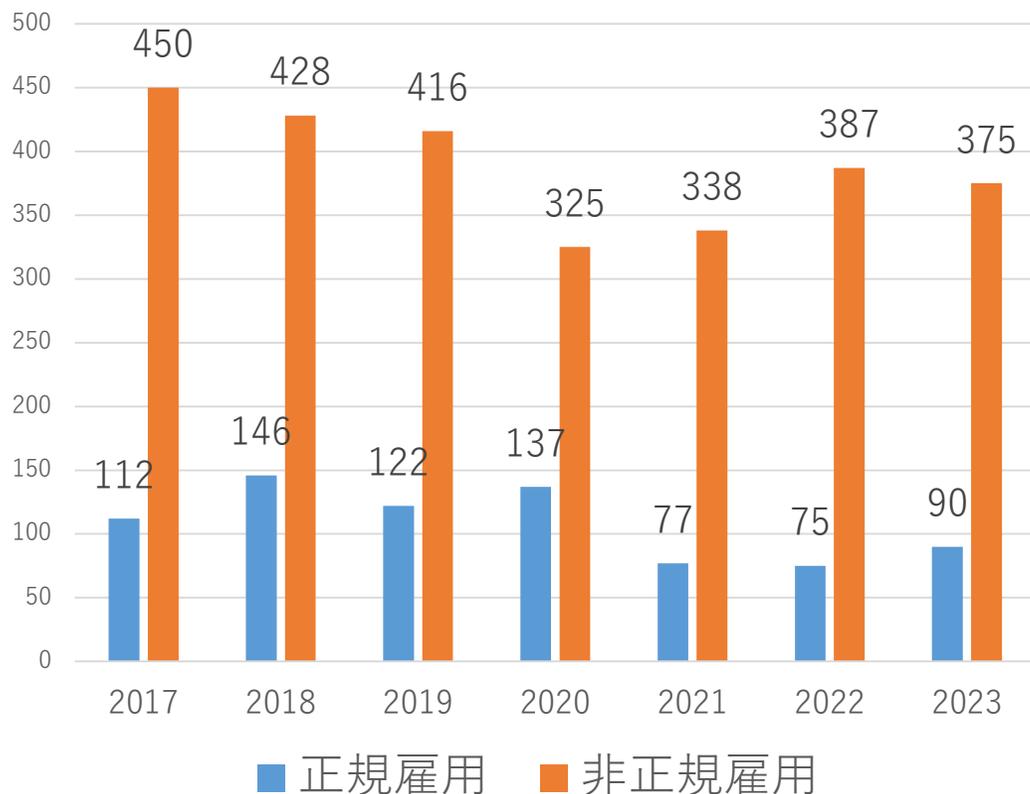
更新率向上とデータ活用により持続可能な水道事業を展開

# 令和6年度行政評価 二次評価がCの事業・理由

章	No.	重点事業名	2023年度 実施事業 一次評価	2023年度 実施事業 二次評価	2022年度 実施事業 二次評価	2023年度実施事業がC評価の理由
第4章	25	女性が活躍しやすい環境づくり	B	C	C	<p>ジョブセンターまえばしの女性登録者は増加(2021年度:541人、2022年度:570人、2023年度:622人)しており、成果指標である女性の正規雇用人数についても増加(2021年度:77人、2022年度75人、2023年度:90人)に転じているが、目標値を達成することはできていない。</p> <p>また新型コロナウイルスの影響により、働き方の変化が生じており、正規雇用にこだわらない女性の増加は考えられるが、男女が共に働ける環境の整備や女性活躍の促進は、世帯所得の向上や合計特殊出生率の向上にも繋がり、最終的には地方創生における最大の課題である人口減少の抑制に繋がる重要な施策である為。</p>
第5章	32	スポーツイベントの開催・充実と大会支援の推進	C	C	C	<p>2023年度に前橋スポーツコミッションを前橋観光コンベンション協会に移管し、専任担当者を確保したが、積極的な誘致活動の展開には至っていない。また各大会においては、スタート地点を道の駅まえばし赤城に変更するなど、大会の魅力を上げる工夫に努めているが、魅力の発信や周知に課題を抱えている為。</p>
	34	若者の定着促進	C	C	C	<p>2023年度の15-24歳の市外への転出超過数は、コロナ禍の2020~2021年度は、転出超過数は縮小傾向にあったが、2022年度から大幅に増加し、過去10年で最多。</p> <p>インターンシップやフィールドスタディプログラムは、地元就職へ視野を広げ、若者が市内に定着するきっかけづくりにつなげる取組ともいえるが成果が見えにくい。</p> <p>今後地元進学や地元就職に繋がるインパクトある施策展開が必要である為。</p>

## 重点事業No.25 女性が活躍しやすい環境づくり

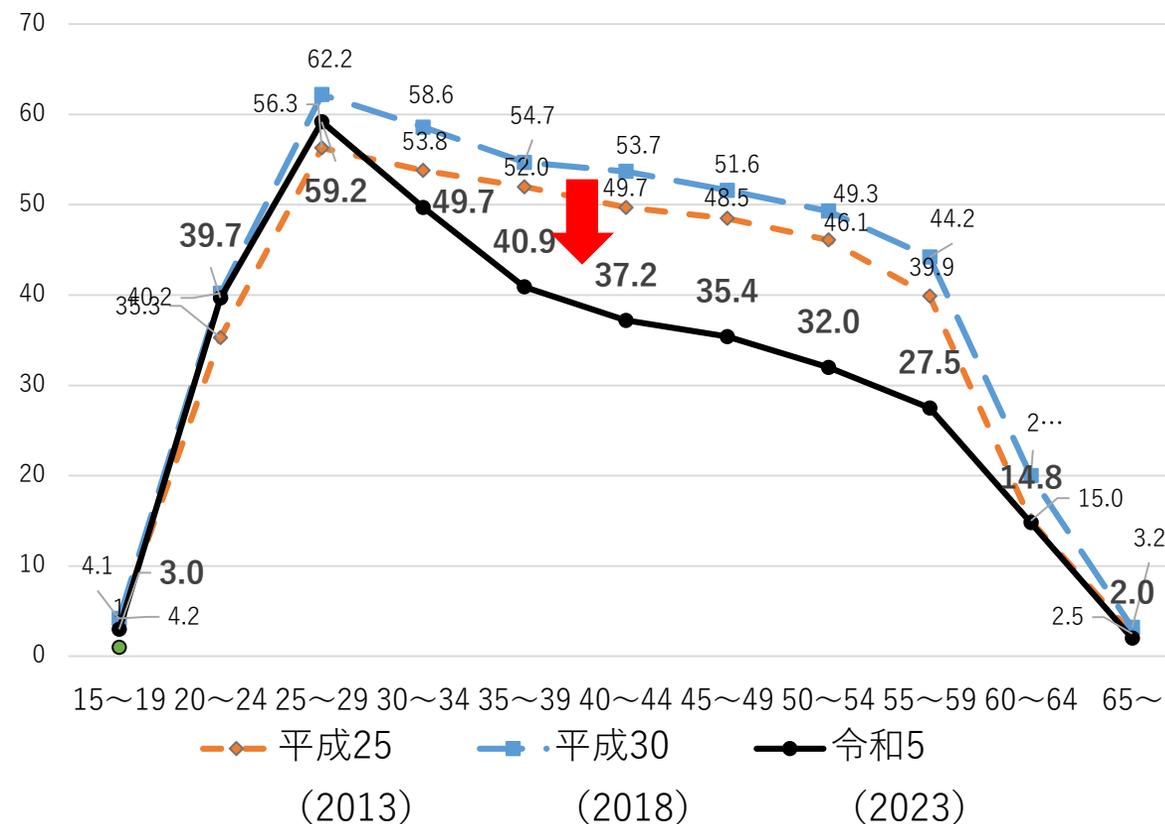
女性の就職支援による雇用人数（年間）



出典：前橋市

70%～83%が非正規雇用

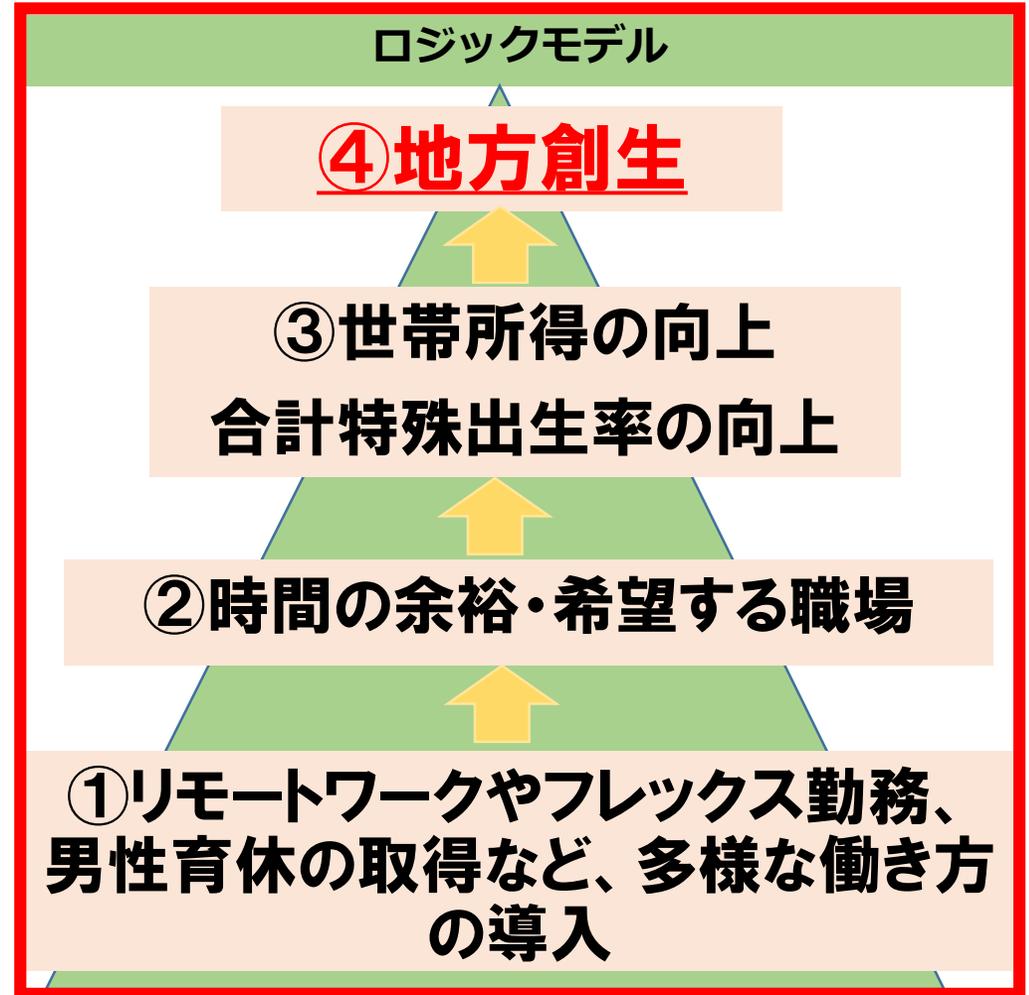
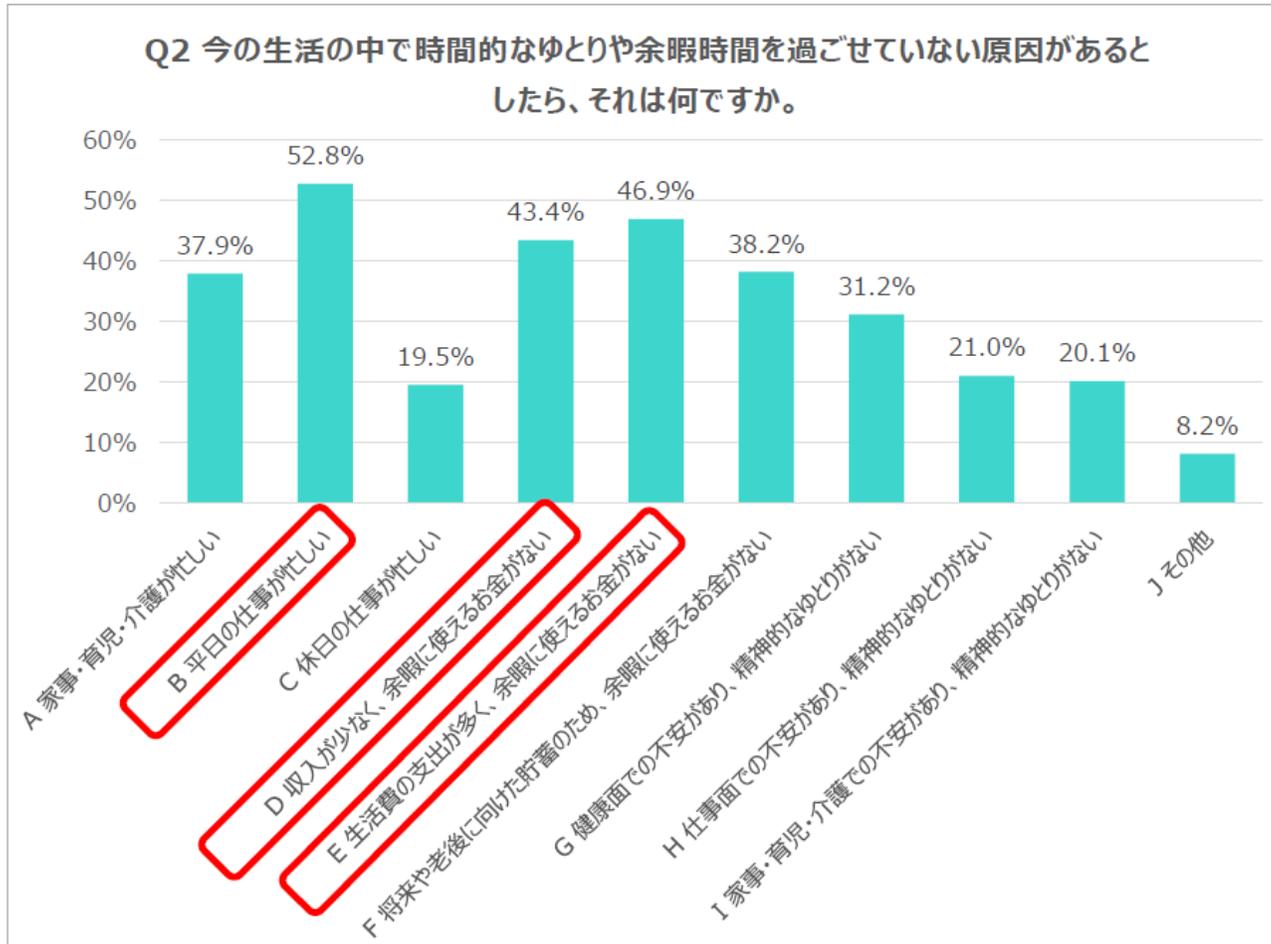
女性の正規雇用比率



出典：総務省労働力調査

全国的に正規雇用率は低下

## 重点事業No.25 女性が活躍しやすい環境づくり



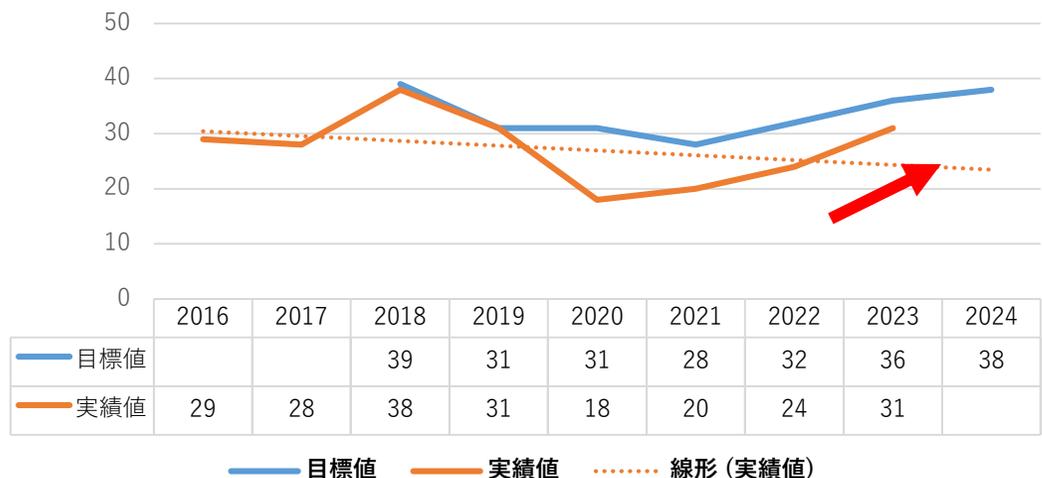
出典：地域幸福度調査（前橋市）

地方創生における最大の課題である人口減少の抑制に繋がる重要な施策

## 重点事業No.32 スポーツイベントの開催・充実と大会支援の推進

### 関東大会以上のスポーツ大会開催数

重点32-1 関東大会以上のスポーツイベントの開催数（年間）（単位：大会）



第83回国民スポーツ大会  
第28回全国障害者スポーツ大会開催内定（2029年）  
湯けむり 国スポ・全スポ ぐんま2029

大会数はコロナから復調傾向  
国体開催へ向け県と連携

### 赤城山を活かすスポーツイベント事業

（継続事業）

■ 2023年度大会参加申込実績  
赤城山トレイルリレーフルマラソン2023 462人  
あかぎ大沼・白樺マラソン2023 1,668人（県外591）  
まえばし赤城山ヒルクライム2023 2,456人（県外1508）

県内外に魅力を発信、体験を提供

## 重点事業No.32 スポーツイベントの開催・充実と大会支援の推進

### 2023新規赤城山スポーツイベント事業



初

初



- 2023年初開催時のイベント実績
- 赤城山トレイルランニングレース 593人（県外397）
- 赤城山100ウルトラマラソン 208人（申込定員未達）

### 情報発信の強化を目指す

坂しかない100km!?



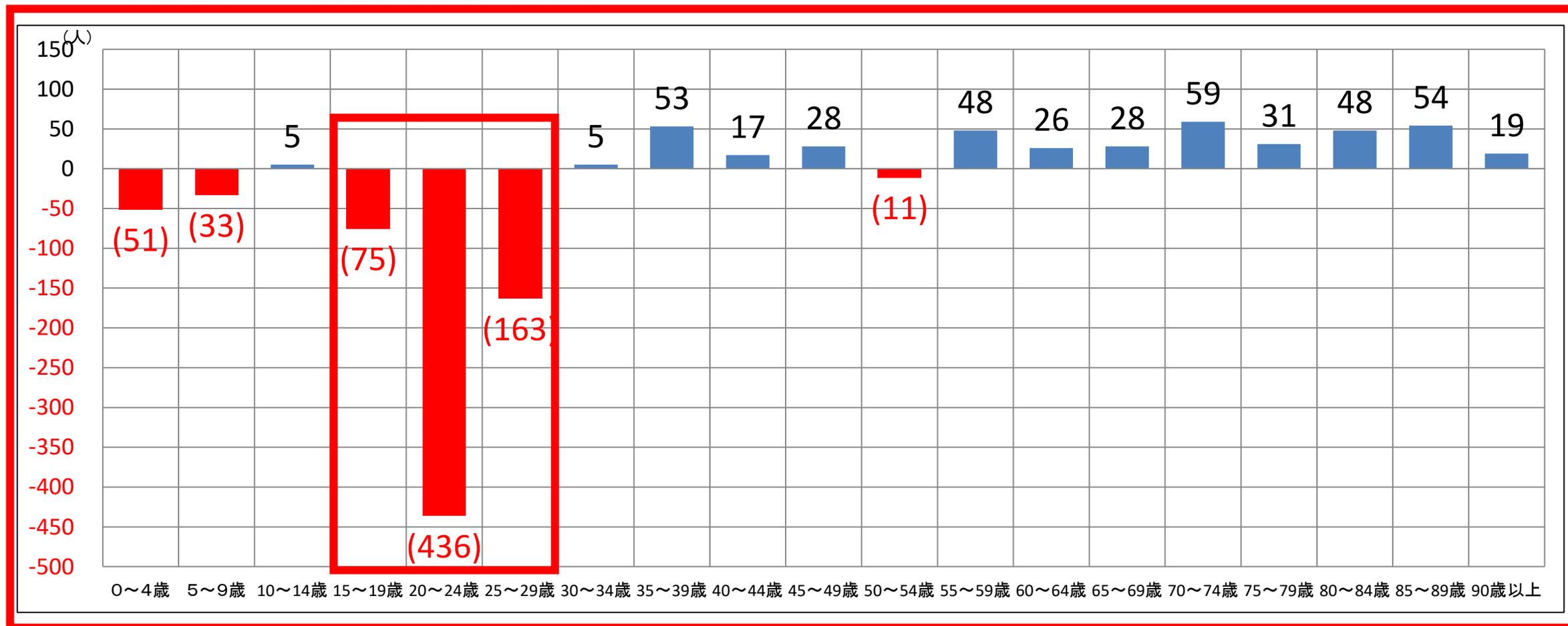
国内最難関レベルの100kmマラソンが爆誕したので走ってきた【赤城山ウルトラマラソン】  
ウルトラランナーみゃこ・4万回視聴・8か月前

- ・ 周知強化のため、2024年インフルエンサー起用
- ・ 100km部門に加え42km部門を新設
- ・ 2024大会 227人申込（100km210人、42km17人）

スポーツイベントから周遊観光への波及効果、より強固な発信へ

## 重点事業No.34 若者の定着促進

■2023年前橋市の5歳階級別純移動者数（日本人のみ）



出典：住民基本台帳人口移動報告

15～29歳の転出超過 = 就職や進学を機に転出している

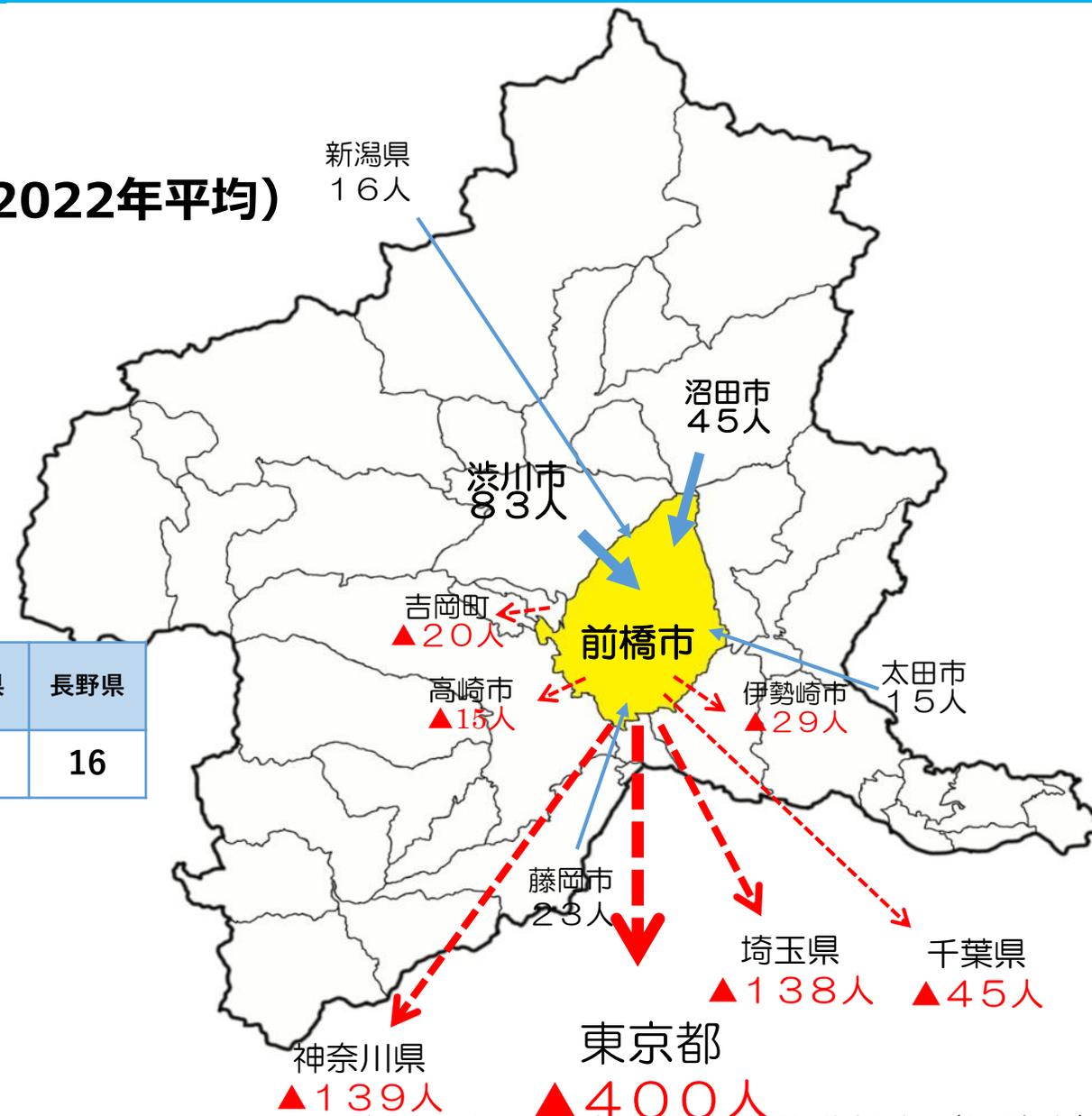
## 重点事業No.34 若者の定着促進

【コロナ禍】  
15-29歳における主な転入出先（2020年から2022年平均）

群馬県内	高崎市	桐生市	伊勢崎市	太田市	沼田市	館林市	渋川市	藤岡市	+ 135人
	▲15	1	▲29	15	45	▲5	83	23	
	富岡市	安中市	みどり市	吉岡町	玉村町				
	12	15	3	▲20	5				

群馬県外	茨城県	栃木県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	長野県
	11	12	▲138	▲45	▲400	▲139	16	16

▲723人



出典：住民基本台帳人口移動報告（総務省）

## 重点事業No.34 若者の定着促進

【コロナ5類移行後】  
15-29歳における主な転入出先（2023年）

群馬県内	高崎市	桐生市	伊勢崎市	太田市	沼田市	館林市	渋川市	藤岡市
	▲39	6	▲47	▲19	43	▲1	61	7
	富岡市	安中市	みどり市	吉岡町	玉村町	+58人		
17	25	11	▲29	23				

群馬県外	茨城県	栃木県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	長野県
	▲1	16	▲204	▲69	▲480	▲163	52	20

▲916人

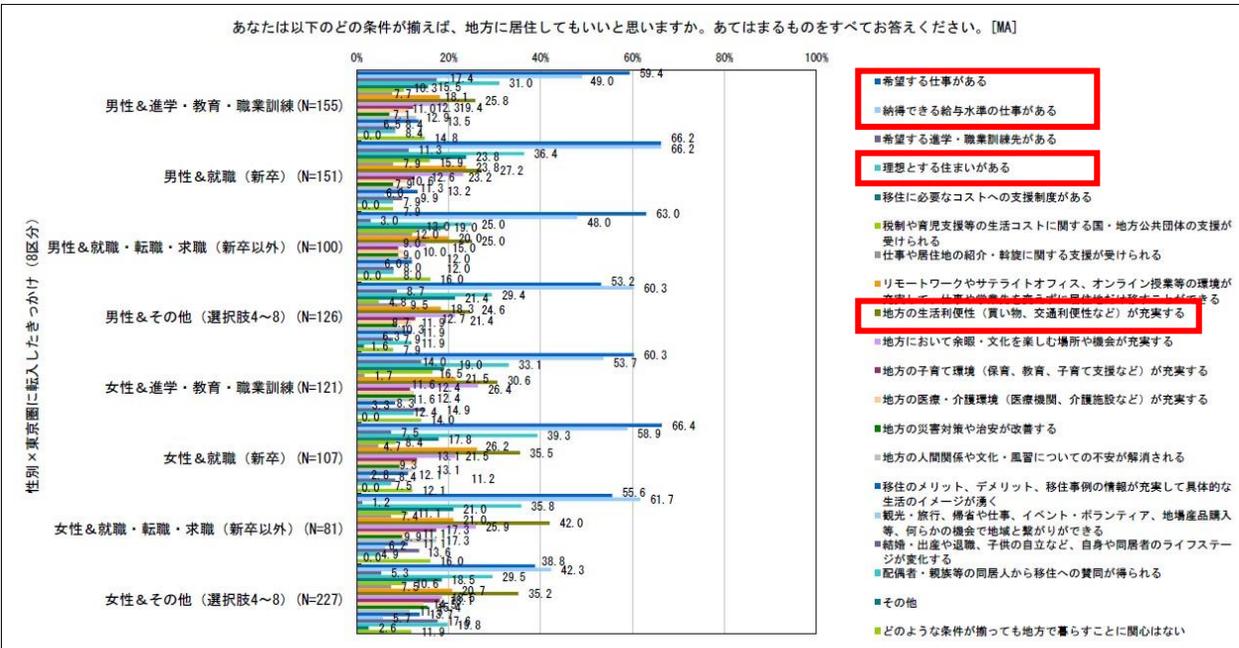
15～29歳は首都圏への転出が多く、県内でも高崎市、伊勢崎市、吉岡町への転出傾向が近年続いている。

→進学や就職を機に首都圏への転出が多い。近隣他市への転出は、首都圏に比べて少ないが要因分析が必要。



## 重点事業No.3 4 若者の定着促進

### ■若い世代が地方居住に求めるもの



出典：令和2年9月内閣官房創生本部事務局「東京圏、地方での暮らしや移住及び地方への関心に関する意識調査」

### 雇用・所得・住宅環境を重視する傾向

### ■ウェルビーイング指標で近隣他市や首都圏との比較

#### 【若者（10-30代）のWell-Being】

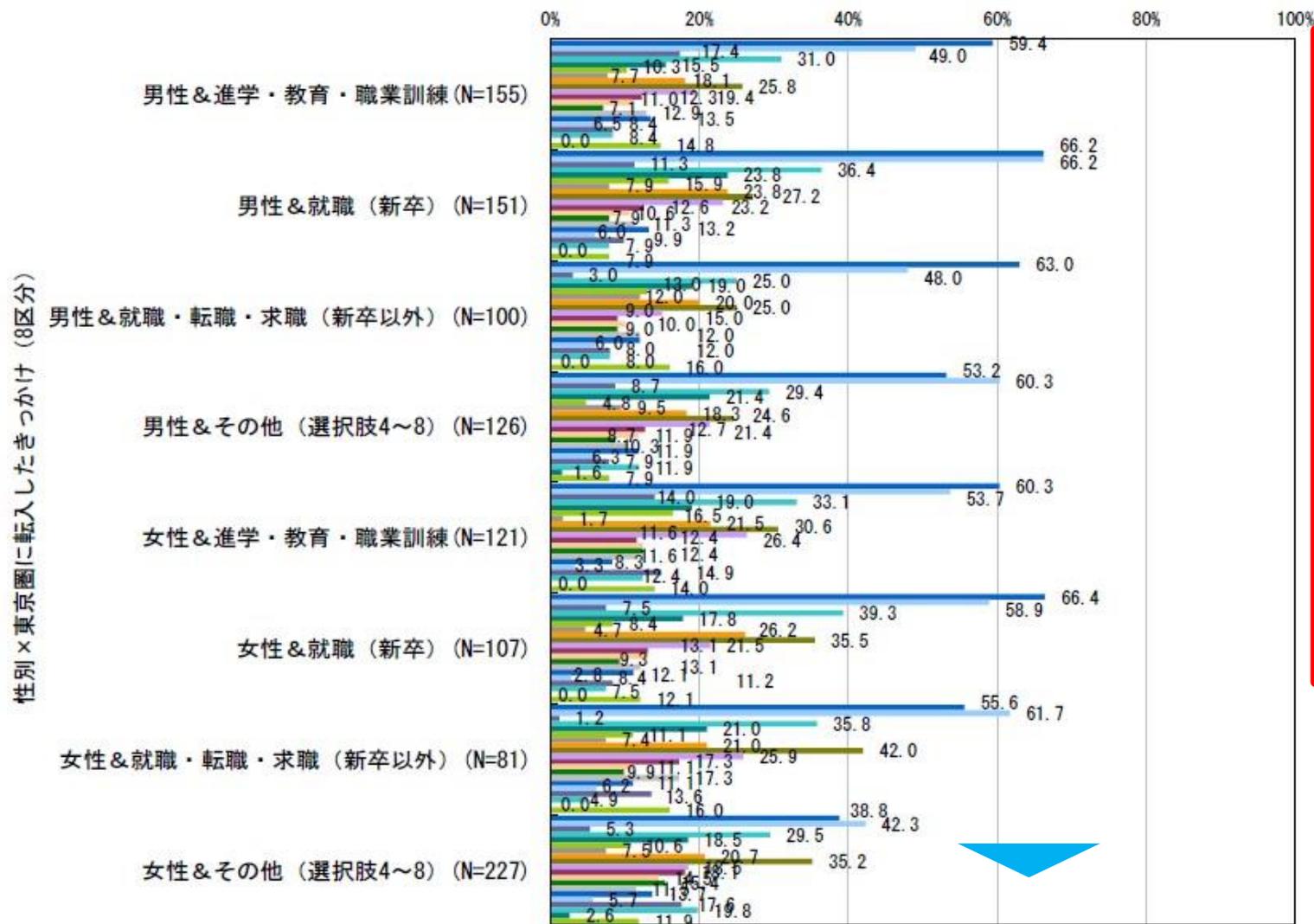
	買物・飲食		移動・交通		雇用・所得		住宅環境	
	主観	客観	主観	客観	主観	客観	主観	客観
前橋市	59.1	49.4	44.0	47.5	58.6	51.0	61.7	55.5
高崎市	74.1	49.1	47.9	47.7	63.3	53.3	71.2	54.3
伊勢崎市	51.5	48.4	36.0	44.4	36.3	50.1	46.9	56.4
太田市	40.5	47.8	40.0	44.2	39.4	49.8	63.8	56.6
埼玉県	52.1	44.0	54.2	40.4	51.0	51.3	49.6	41.6
千葉県	45.5	43.4	50.0	41.1	49.2	52.6	45.7	43.7
神奈川県	54.2	51.7	57.6	46.1	59.2	54.7	45.1	30.5
東京都	62.4	64.3	63.2	50.1	66.7	78.5	45.3	20.0

出典：2024年度版 Well-Being 全国調査 (デジタル庁)

雇用所得は客観指標で東京都と大きな差がある  
住宅環境は首都圏より高くポテンシャルがある

若者定着の促進に向けて転出入者を対象にアンケートを実施予定  
雇用・所得、住宅環境にかかる施策の検討開始

あなたは以下のどの条件が揃えば、地方に居住してもいいと思いますか。あてはまるものをすべてお答えください。[MA]



- 希望する仕事がある
- 納得できる給与水準の仕事がある
- 理想とする住まいがある
- 地方の生活利便性(買物・交通利便性など)が充実する

- 移住のメリット、デメリット、移住事例の情報が充実して具体的な生活のイメージが湧く
- 観光・旅行、帰省や仕事、イベント・ボランティア、地場産品購入等、何らかの機会で地域と繋がりができる
- 結婚・出産や退職、子供の自立など、自身や同居者のライフステージが変化する
- 配偶者・親族等の同居人から移住への賛同が得られる
- その他
- どのような条件が揃っても地方で暮らすことに興味はない

※全体標本(合計)は、東京圏転入者の平均を集計(生まれよりの東京圏在住者は除外)

## 重点事業No. 3 4 若者の定着促進

■ 高校生のための体験型市内企業説明会である「ミライバシ」が2年ぶりに開催

### ミライバシ

MYNAVI SHINGAKU LIVE 2024



○前橋市 × ままゼー!

7月18日開催

1,700人の高校生が参加  
市内参加高校

- ・群馬県立前橋清陵高等学校
- ・群馬県立前橋東高等学校
- ・群馬県立前橋商業高等学校
- ・前橋市立前橋高等学校



### 市内企業22社が参加



企業・団体名
株式会社くらまえ
有限会社 ハートマーケット
株式会社 アブリス 関東工場
関東防災工業 株式会社
群馬トヨペット 株式会社
群馬ヤクト販売 株式会社
株式会社 ジーシーシー自治体サービス
ちよだ 株式会社 グランヴィル前橋
株式会社 ベイシア
三陽技術コンサルタンツ 株式会社
上毛電気鉄道 株式会社
宮下工業 株式会社
社会福祉法人 ほたか会
群馬セキスイハイム 株式会社
システムセイコー 株式会社
株式会社 ナカヨ
ネットヨタ群馬 株式会社
株式会社 吉田鉄工所
カネコ種苗 株式会社
株式会社 ザスパ(ザスパ群馬)
株式会社 ジンズ
幼保連携型認定こども園 大胡第3こども園

進学・就職前の高校生の段階で市内企業を知る場を設けることで  
将来的な地元就職・Uターン就職の意識づける

### 3 今後の予定

**6月下旬 行政評価シート(暫定版) 議会情報提供**

**8月上旬 県都まえばし創生本部有識者会議**

**10月下旬 行政評価報告書 議会情報提供**

**10月下旬 行政評価報告書 市ホームページにて公表**